

公認心理師をめぐる諸課題

講演者：野島 一彦 (跡見学園女子大学)

司会者：岡村 達也 (文教大学)

学会賞の授賞理由が、学会への貢献とエンカウンター・グループを始めとする学術的功績の2つとなっているが、この受賞者講演では、前者に関連した私のライフワークである心理職の国家資格化に絞って述べたい。私は、1970年に大学院に入学してから心理職を国家資格にすべきだとの強い考えを抱いた。それで国家資格化を目指す本学会にも1982年の最初から入会した。そして1991年に理事になってからもその気持ちを持ち続けた。いろいろな紆余曲折があったが、幸いに私が理事長であった2015年によく悲願が実現した。しかし、私はこれからは大切だと考えている。公認心理師制度はできたが、現実的に国民の心の健康の保持増進に寄与する有能な公認心理師をいかに育て、社会的に認められるようにするかが大きな課題である。それで、養成、試験、研修、職能団体、職域拡大、政治連盟等について私の考えを語りたい。

略歴

- 1947年 熊本県に生まれる。
- 1970年 九州大学教育学部卒業
- 1975年 九州大学大学院教育学研究科博士課程単位取得後退学
- 1975年 九州大学教育学部助手
- 1979年 久留米信愛女学院短期大学助教授
- 1985年 福岡大学人文学部教授
- 1998年 九州大学教育学部教授
- 1998年 博士(教育心理学)、九州大学
- 2004年 九州大学大学院人間環境学研究院教授
- 2012年 跡見学園女子大学文学部教授
- 2018年 跡見学園女子大学心理学部長

学会活動

日本心理臨床学会理事・常任理事・理事長(2014-2016)、第30回秋季大会実行委員長(2011)、日本人間性心理学会理事長、日本心理学諸学会連合副理事長、日本臨床心理士会副会長などを歴任。

2003年 11月 日本カウンセリング学会「育てるカウンセリング國分記念賞」受賞

2013年 9月 日本人間性心理学会「学会賞」受賞

主な著書

- 「エンカウンター・グループのファシリテーション」 ナカニシヤ出版
- 「グループ臨床家を育てる」 監修、創元社
- 「公認心理師の職責」 編著、遠見書房
- 「公認心理師の基礎と実践シリーズ(全23巻)」 繁樹算男と共監修、遠見書房
- 「公認心理師分野別テキスト(全5巻)」 監修、創元社
- など